事務局長談話４

安全衛生対策強化月間～「ご安全に」の声掛けの強化を！

ご安全に！2022 年となり、早や１か月が経過しました。仕事始めの１月５日には、水天宮へ安全祈願に行ってまいりました。いつもであれば、基幹労連役員全員で対応するところですが、今年もコロナ禍ということで、四役と安全担当で基幹労連に係わる全ての仲間の安全と健康、今年こそは死亡災害ゼロをと祈願させていただきました。

しかし、残念ながら年明け早々に１件１人の死亡災害が発生してしまいました。改めて、職場パトロールや「ご安全に」の声掛けなど、安全職場構築に向けた一層の取り組みをお願いいたします。

昨年、2021 年は 15 件 15 人もの尊い仲間の命が失われてしまいました。確認中の１件１人を除く状況を見ると

① 直営会社社員と協力会社社員の比率では、協力会社社員が 64％と若干高い

② 勤続年数別では、10 年以下が 58％、経験年数別では 10 年以下が 50％、年齢別では、46 歳以上が 72％であり、中高年齢層で勤続が短く、経験の浅い方が多く被災

③ 型別では、挟まれ・巻き込まれが５人、墜落・転落が３人と、この２つが多い傾向に変わりはないが、墜落・転落は減少

という傾向になっています。

こうした状況もふまえ、１月 14 日付けの基発№116 で「重大災害をはじめとする労働災害の撲滅」を重点目標に掲げた、２月の「安全衛生対策強化月間」における実施要領を発信しました。具体的には、①重大災害をはじめとする労働災害の撲滅に向けた活動　②職場における「ご安全に」の声掛け運動の強化　を実施事項として、死亡災害を分析・取りまとめたデータの活用による類似災害発生防止に向けた活動、安全ポスターの掲示による啓発活動、職場パトロールによる不安全箇所の是正活動などをお願いしています。

あらためて、重大災害の撲滅に向けて「仲間の安全と健康を願う気持ち」と「自らの誓い」の思いを込めた「ご安全に」の声掛けの実践、職場への徹底・浸透をはかっていただきたいと思います。

いよいよＡＰ２２春季取り組みがスタートします。国内外の経済動向も不透明感が続くなかで、再拡大している新型コロナウイルス感染症の影響も相まって、収益状況もまだら模様ではありますが、職場・組合員は懸命の努力と対応を続けています。賃金改善、年間一時金、格差改善をはじめとした労働諸条件全般の改善に取り組み、成果を得るのは勿論のこと、労使が真摯に協議・交渉する経過をタイムリーに職場・組合員に伝えることも重要です。そして、これら取り組みの礎は安全と健康です。あらゆる場面で「ご安全に」の声掛けをお願いいたします。

全ての職場でご安全に！全ての働く仲間のためにご安全に！思いを込めてご安全に！

2022 年２月１日

日本基幹産業労働組合連合会

事務局長　津村　正男